

今月のテーマ  
核兵器禁止条約



田上市長の  
心と手  
～自らの思いを皆さんに語るコラム～

- 特集
- 市民
- 市政
- 「ご意見」  
プレゼント
- 生活情報
- 子育て
- 健康
- 福祉
- 税
- 講演・講座
- もよおし
- おしらせ
- 募集

今年8月9日の平和宣言で、次のように述べました。「今年秋の国連総会で、核兵器のない世界の実現に向けた法的な枠組みに関する協議と交渉の場を設けてください。そして、人類社会の一員として、解決策を見出す努力を続けてください。」(中略)今こそ、人類の未来を壊さないために、持てる限りの『英知』を集めてください」



結果はどうだったのでしょうか。

国連総会第5委員会では、核兵器禁止条約の交渉開始を求める決議案を採択しました。賛成123票、反対38票、棄権16票という圧倒的多数の賛成による採択でした。

今月開かれる国連総会本会

議でも採択される見込みで、そうならば、平和宣言で求めたとおり「協議と交渉の場」が来年設けられることになりま

これは「核兵器のない世界」の実現に向けて、とても大きな前進です。

核兵器禁止条約はこれまで、いくつかの国から提案されたり、潘基文(キムン)国連事務総長が2008年に発表した「5項目の核軍縮提案」の中で言及されたりしてきました。しかし、今回の決議は57カ国による共同提案であり、これほど多くの国が提案国に名を連ねるのは画期的なことで、国際社会に止めることのできない大きな流れができてきているのを感じます。

もちろん条約の中身などは、これからの話し合い次第ですが、最も大切なことは、「核兵器のない世界」という共通の目標に向けて、話し合う場を絶やさないこと、そして、さまざまな課題があっても、あきらめずに「英知」を集め続けることだと思えます。

この決議案に、残念ながら、

日本は反対しました。「核兵器のない世界」の実現に向け、唯一の戦争被爆国としてリーダーシップをとるべき立場であるにもかかわらず、「協議と交渉の場」をつくることにさえ反対したことは、被爆地として決して看過できません。

核兵器禁止条約の議論はこれから始まるのです。しかも、禁止条約は核不拡散条約(NPT)とも、核保有国が主張する段階的核軍縮とも矛盾しません。来年の会議にはきちんと参加して、核保有国と非核保有国との橋渡し役を務めるよう、政府に求めていきたいと思えます。

今年、オバマ大統領の広島訪問をはじめ、各国リーダーの被爆地訪問が続きました。これも平和宣言などで求め続けてきたことです。あらためて、あきらめずに発信し続けることの大切さを感じます。

来年も変わらずに、多くの国、多くのまちの仲間の方々と手を携えて、「ノーモア・ナガサキ」「ピース・フロム・ナガサキ」の思いを伝え続けたいと思います。



ながさき  
フチ旅行  
出かけて見る・知るまちのオススメスポット

魚のまち長崎を支える  
新長崎漁港周辺

市中心部から北西へ車で40分ほどで、三重地区に着く。江戸時代から港町として栄えていたこの地区には、平成元年に開港した新長崎漁港の周辺に、魚市場、加工工場、直売所、研究施設などが集まり、水産基地として機能している。

魚市場周辺はグルメの宝庫。魚市場内の食堂は、漁業関係者以外の一般客も利用でき、鮮度抜群の魚を楽しめる。また地区内の直売所では、新鮮な魚介をはじめとする旬の食材を購入できる。

かつて宝石のヒスイが採れたことから名づけられた翡翠ヶ丘公園からは、港を中心に発展を続ける街並みが一望できる。魚のまち長崎を、五感で実感できる地区である。